

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	下水道経営課
	施策	汚水・雨水対策の充実		電話番号	087-839-2720
	基本事業	汚水対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	合併処理浄化槽設置整備事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	合併処理浄化槽の設置者に対し、補助金を交付することで、合併処理浄化槽の普及促進を図り、生活排水処理対策を推進する。平成31年度から、国の単独処理浄化槽やくみ取りから合併処理浄化槽への転換に重点を置く方針に伴い、本市においても新設に対する補助を廃止した上で、転換に重点を置く取組として、配管費の上限額を引き上げる見直しを行うことにより、さらなる転換促進に努める。				
	3年度概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>浄化槽設置費補助 280基</li> <li>単独浄化槽撤去・配管費補助 200基</li> <li>委託料 280基</li> </ul> 事業費 192,276千円	重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型

【事業の目的】

対象（何を）	浄化槽整備区域に居住する市民
意図（どのような状態にしたいか）	浄化槽整備区域における生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
浄化槽設置助成基数	基	1,009	1,039	935	280	280

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
成果指標	合併処理浄化槽による汚水処理人口普及率	%	目標値	22.3	22.6	22.9	23.2	23.5
			実績値	22.3	22.9	23.5		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成30年度末の合併処理浄化槽等による汚水処理人口普及率は、平成25年度からの転換上乗せ補助制度により、合併処理浄化槽の設置整備が順調に進み、23.5%となり、目標値（22.9%）を達成した。 （目標達成度）							（達成度） 102.6% 35点
	成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）						

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[千円]	316,303	320,365	283,019	214,395
（事業費）	[千円]	289,896	294,084	260,900	192,276
（職員人件費）	[千円]	26,407	26,281	22,119	22,119

【評価】

評価ランク（A～D）	<b>A</b>	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	<b>継続</b>
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

浄化槽設置基数935基のうち、転換基数は199基となっており、一定程度、転換の促進は図られた。その一方で、未だに単独浄化槽は平成31年3月末現在で約27,000基残っていることから、今後さらなる転換促進を図るため、引き続き、周知・啓発や不適施設の改善指導を行う必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

生活排水対策の推進のため、公共下水道の整備と併せて汚水処理人口普及率の向上に取り組むとともに、今後、国に対して、転換に対する補助率の拡大を要望するなど、継続して転換促進を図る。  
また、平成31年度から、国の方針に併せて新設に対する補助を廃止し、転換に重点を置く取組として、配管費の上限額を上げ、より一層の転換促進を図る。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	下水道整備課
	施策	汚水・雨水対策の充実		電話番号	087-839-2771
	基本事業	汚水対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計) 汚水施設整備事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	公共用水域の水質保全と、人々が健康で快適に暮らせる生活環境を創出するため、汚水施設の計画的な整備を行う。下水道事業は、高松市では昭和8年から整備に着手し、昭和40年に福岡下水処理場で汚水処理を開始、昭和57年に東部下水処理場の供用を開始、平成13年に香東川浄化センターの供用が開始された。現在、平成28年3月に策定した、第4次高松市生活排水対策推進計画に基づき、整備を進めている。H30未現在、事業計画面積 6569.7ha 整備済面積 5486.8ha 行政人口 425,949人 処理人口 270,515人				
	3年度概要	汚水管きよ整備 200～300mm L=1,528m 面整備(高松、牟礼、庵治、香川、香南、国分寺地区等)			
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備	

【事業の目的】

対象(何を)	下水道事業計画区域
意図(どのような状態にしたいか)	下水道事業計画区域内で下水道の整備を行う。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
単年度整備面積	ha	4	8	6	19	28

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
成果指標	下水道整備面積	ha	目標値	5,496	5,495	5,518	5,537	5,565
	実績値			5,473	5,481	5,487		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 下水道の整備により生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図る。 (目標達成度)						(達成度) 99.4% 34点	
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(予算)
トータルコスト	[千円]	656,656	589,437	347,433	842,457
(事業費)	[千円]	544,628	477,941	252,297	747,321
(職員人件費)	[千円]	112,028	111,496	95,136	95,136

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

未整備区域の中でも費用対効果を含め優先度を考慮の上で、整備に努めた。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

第4次高松市生活排水対策推進計画に基づき、現計画区域内の未整備区域において、汚水管の整備を推進する。